

2011/9/18 アイアンマン 70.3 セントレア大会参戦記

宿院 雅広

○京都からセントレアへ

小島さんとともに、去年に引き続きアイアンマンブランドに惹かれて、大枚はたいての参戦です。朝7時に自宅を出て、東インターから高速に乗り、一気に空港内のホテル駐車場へ向かい、9時過ぎ着。説明会&登録会場への入りは10時と相変わらず早く、その分タイムも早くなるかと言うと関係なく(涙)単に遠足前にウキウキしている子どもみたいなもので、案の定、翌日のレース展開は…では、レポートです。

○バイクコース下見

去年とは全くコースが変わったため、車に乗って下見に出かけます。

最初の10キロまでは、海岸線を走る高速コースですが、その後は、常にアップダウンの繰り返し。しかも右に直角に曲がったかと思うと、左に鋭角に曲がりすぐに急な上りといった慌ただしいコース。さらに同じ交差点でも1回目は直進、2回目は左折、3回目は直進…と、もはや???の世界です。感想は、「よーこんなコース作ったなあ」です。ホント。間違わずにフィニッシュできるかとても心配!という気持ちだけが残りました。

○バイクセッティング

バイクは前日にセッティングしなければならないため、午後4時にスイムスタート地点に。

かなりな風のため、ひもでラックに固定し、雨を避けるため自転車カバーをかけます。

ひととおりセットが終わり、スイム会場を見に行くと…

「でーりゃー、きたねーがやー(名古屋風?)」

いろいろな物が浮いています。色もきれいな茶色です。大阪湾に近いかも^^;

ここで去年の参戦メンバー井本さんも揃い、記念写真をパチリ



○大会当日の朝まで

夕食は空港内の「まるは食堂」で、大振りのえびふりゃー2尾をビール片手に食します。

そして午後9時にはおとなしく就寝 zzz

目覚ましを3時45分にセットするも、朝3時40分にお目々ぱっちり

「よっしゃー、やったるでー！」

○スイム

波が荒いので1.9キロから1.2キロに変更、水温28度を超えているため、ラスベガスのスロットを取りたい人はノーウェットが必要とのアナウンス。

取れるはずはないけど、可能性はゼロではないので挑戦しようと3人ノーウェットで挑みます。

そして7時40分、第1ウェーブがスタートし、その後第6ウェーブで井本さんと宿院が、第7ウェーブ

で小島さんが、数時間後のフィニッシュを目指してスイムスタート。

いつもはただ苦しいばかりのスイムですが、距離が短くなり俄然気持ちが楽です。

バトルにもまったく合わずに 22 分 10 秒でスイムアップ。小島さんは 22 分 50 秒。井本さんは 18 分台とのこと。早〜っ！

○バイク

走り出してすぐ DH バーのボトルの留め具が外れ、ガタガタするので 10 キロ地点のエイドでもらったひもでバーの周りをぐるぐる巻きに。かっこ悪ー。

前半調子よく飛ばすも、後半は徐々に暑さに体力を奪われていきます。

しかも常に上って下りての繰り返し、足にくるうえ、直角コーナーで減速→加速→また直角コーナーって感じで余計に体力を消耗します。

井本さんは気付かなかったけど、小島さんとは何回かすれ違いお互いカツを入れ合います。

そしてぎりぎり Ave30 キロ超えたかどうかでバイクフィニッシュ。

あー、もう体力残ってねー（涙）

○ラン

さあ、ここからが正念場！ですが、結末があまりにも…

キロ 5 分で走り出して 1 キロで早くも黄色信号が点滅します。

「暑い…、このままあと 20 キロ走れるか…」

歩きたいのを我慢してひたすらエイドを目指すという、さぎしま大会に続いての各駅停車です。

しかも今回はどのエイドも長時間停車で、赤信号が点滅しています。

そして 7 キロ地点のエイドでは、とうとう救護ベットにお世話になり、もはや赤信号が点灯か！

が、数分後何とかベットから起き上がり、冷たい水を頭から何度もかぶってようやく息を吹き返します。

ゆっくりゆっくり、足を前へ進めます。

ちなみに、この間にきっと小島さんに抜かされているだろうと思っていたのに、なんと、ランの得意な小島さんでさえ潰れて歩いていたそうなの。

それに引き換え井本さんは、ゴール手前ですれ違ったときは、そんなに練習していないと言いながら、余裕の顔で軽快に走っていました。

結局、何とか走り切ったものの私は 2 時間 25 分、小島さん 2 時間 20 分、井本さん 1 時間 53 分。

夏の初めのレースは少々暑くても我慢できるのですが、残暑の時期はかなり要注意。

2 年連続 8 月末から 9 月のレースで潰れました。

これを克服するためには、やっぱり喜田さんのように炎天下を走らなあかんのかな???

いやいや、軟弱アスリートもどきは出ないに越したことはない！と早くも来年に頭が飛びました。

○最後に

セントレア空港の開港を記念して、常滑市が総力をあげて取り組んでいる大会です。応援もボランティアも実にパワフルな感じでした。とっっても気分よくフィニッシュすることができました。感謝です！これからもずっと続いてほしい大会です。

でも、バイクは高速で走れるコースにしてくれたらうれしいなあ。

